

# ロータリー財団100周年記念シンポジウム

主催：日本ロータリー学友会  
後援：朝日新聞社

## 国際人道支援の第一線で活躍する ロータリー財団学友の報告

2016年11月27日、JPタワーホール(東京)にて、国際ロータリーが運営するロータリー財団の100周年を記念するシンポジウムが開催されました。同財団の奨学金を得て海外の大学で学んだ後、国際支援の現場で活躍する精鋭が集まり、人道援助の現状と展望を、約800名の聴衆と分かち合いました。緒方博士を筆頭に、優れた人材を世に送り出してきたロータリー財団の奨学金制度の成果と、息の長い教育支援の重要性を改めて認識する集まりとなりました。



挨拶  
国際ロータリー会長  
ジョン・F・ジャラムン氏

### 元国連難民高等弁務官「ロータリー学友に人道奉仕世界賞授賞者」 緒方貞子氏のメッセージ



おがた・さだこ 1927年東京生まれ。聖心女子大学文学部卒業後、アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号を、カリフォルニア大学バークレー校で政治学修士号を取得。74年、国際キリスト教大学専任教授に就任。76年、日本人女性として初の国連公使となり、以降、特命全權公使、国連人権委員会日本政府代表を務める。80年、上智大学教授に就任。91年より第8代国連難民高等弁務官として難民支援活動に取り組む。2000年12月退任。01年より人間の安全保障委員会共同議長、アフガニスタン連邦日本政府特別代表、国連有識者ハイレベル委員会委員、人間の安全保障諮問委員会委員長を歴任。03年、独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長に就任。12年退任し、現在JICA特別フェロー。

開会にあたり、国際ロータリー会長のジョン・F・ジャラムン氏からスピーチと、「ロータリー学友に人道奉仕世界賞」を緒方貞子氏が受賞したことの発表が行われました。公務のため

「このたびは、ロータリー財団100周年記念シンポジウムの開催、おめでとうございます。このような特別な機会に、『ロータリー学友に人道奉仕世界賞』を頂戴し、ありがとうございます。1951年、私は日本人で2人目のロータリーフェローとして、ワシントンのジョージタウン大学の修士課程で学びました。アメリカ留学中は、ロータリアンや留学生との交流を通じて、奉仕の精神を学ぶとともに、戦後の貧しい時代であっただけに、広い視野と経験を得たことが感慨深く思い出されます。



現在、私たちは変化の激しい時代に生きています。以前にもまして複雑な脅威にさらされている世界だからこそ、市民社会一人ひとりの役割やつながりが一層大切になります。今日は、私と同じくロータリー財団の奨学生として海外で学んだ経験を生かして、国際的な人道支援活動の第一線で活躍する学友の皆さまからの報告が予定されています。頼もしい後輩が育つことを心強く感じます。実り多いシンポジウムとなるよう祈念しつつ、私のご挨拶とさせていただきます。」

### 「国際人道支援の第一線で活躍するロータリー財団学友の報告」 シンポジウム

シンポジスト：中満 泉氏(国連事務次長補、国連開発計画総裁補兼危機対応局長、国連事務次長特別顧問(難民・移民・移住シフト・フォーラム担当))  
赤阪陽子氏(国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)シニア副代表、元リニアタマカス上級フェロー(調整官))  
阿部奈美氏(東京大学大学院博士課程在籍、元国連児童基金(ユニセフ)地域事務所開発コミニティ・コーディネーター/専門官、元UNHCR南スーダン/ヨルダン保護官)  
金子由佳氏(日本国際ボランティアセンター(JVC)エルサルバドル事務所現地代表)

#### 人道援助の現状と課題

榎原 5人のシンポジストは、ロータリー財団の奨学金を得て留学した後、海外において人道援助活動をしてこられました。赴任先の現状や活動内容についてお話ししていただきます。



阿部奈美氏  
2005年 国際親善奨学生  
東京中野クラブ派遣  
現在は東京セントラルパークRC

民族間の争いに発展した形です。駐在中の13年12月15日、何の兆候もなく内戦が始まりました。UNHCRのフィールド事務所には、難民は、すでに首都ジュバに避難しましたが、私の2人の部下は異なる民族の現地職員は出張中でした。彼らは命の危険にさらされたり、家族が国境を越え難民になったりと、非常に緊迫した日々を余儀なくされてきた。国内避難民や難民だけでなく、紛争地域で働く国際機関の職員たちにもストーリーがあることを理解いただければ幸いです。



國枝美佳氏  
1996年 国際親善奨学生  
藤原北クラブ派遣

種々の教育なども行いました。その成果が表れ、ナイジェリアは2014年7月から2年間、WHOのポリオ常在国から外れ、中西部アフリカのポリオ流行を止めることができました。

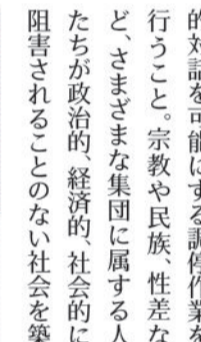
金子 駐在中のバレスチナ・ガザ地区は06年からイスラエルによって軍事封鎖されており、約200万人のバレスチナ人が天井のない監獄に閉じ込められています。ここでは私は、子どもたちの栄養改善事業に取り組んで



金子由佳氏  
2010年 平和フェロー  
熊谷東クラブ派遣

#### よりよい明日のために

榎原 問題解決の糸口や日本人にできることは何でしょうか。中満 政治的解決につきます。P KO活動などを通じて、政治的対話を可能にする調停作業を行うこと、宗教や民族、性差など、さまざまな集団に属する人たちが政治的、経済的、社会的に阻害されることのない社会を築くこと。今後はこうした包括的な支援が国際支援の標準として必要です。



中満 泉氏  
1987年 国際親善奨学生  
厚木クラブ派遣

阿部 いい事例がミャンマーで。民主化が進み、タイ側にいる難民の方々は自主的に帰還できる時期が来たとUNHCRは考え、舵を切り始めています。

金子 中東に対して、日本は概して中立的立場にあります。また、ロータリークラブは宗教的な



阿部奈美氏  
1992年 国際親善奨学生  
富田林クラブ派遣

また、タンザニアのような国に対しては、難民への人道援助だけでなく、開発援助などを通じてその国自体を支援していくことが大事です。

榎原 最後に、私もロータリー財団の奨学生として米国でジャーナリズムを学ばせていただきました。現在、日本の情報を世界に発信していく仕事をしておりますが、私はこれをロータリアンの皆様を含む日本への恩返しだと思っており、今後も積極的に取り組んで参ります。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

#### ロータリーの重点分野

● 平和と紛争予防/紛争解決  
● 疾病予防と治療  
● 水と衛生  
● 母子の健康  
● 基本的教育と識字率向上  
● 経済と地域社会の発展

ロータリーは1979年にフィリピンで撲滅運動を開始、以来世界122カ国20億人以上の子どもたちへ予防接種をしてきました。撲滅まであと少しです。

ロータリー財団の奨学金を得て海外の大学で学んだ後、国際支援の現場で活躍する精鋭が集まり、人道援助の現状と展望を、約800名の聴衆と分かち合いました。

ロータリー財団の使命は、世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することです。

ロータリー財団の奨学生として海外で学んだ経験を生かして、国際的な人道支援活動の第一線で活躍する学友の皆さまからの報告が予定されています。頼もしい後輩が育つことを心強く感じます。

ポリオ撲滅最後の0.1%との闘い

ロータリー財団の奨学生として海外で学んだ経験を生かして、国際的な人道支援活動の第一線で活躍する学友の皆さまからの報告が予定されています。頼もしい後輩が育つことを心強く感じます。

ロータリーの奨学金

1947年から2013年の国際親善奨学金制度終了まで、4万人(日本人8千人)以上の奨学生を親善大使として海外へ派遣。現在は、ロータリー平和フェローシップや財団の補助金で奨学生を派遣しています。

ロータリーの重点分野

- 平和と紛争予防/紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

https://endpolio.org/ja

http://plif-rfj.org/scholarship.html  
ロータリー平和フェローシップ:  
https://www.rotary.org/ja/peace-fellowships

https://www.rotary.org/ja/areas-focus



## ポリオを地球上から撲滅し、 子どもたちのために平和で住み良い世界をつくる

ロータリー財団の使命は、世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することです。

1917年6月「世界で良いことをしよう」という運動から始まったロータリー財団は、現在6つの重点分野を掲げ、主に会員からの寄付を、基本的識字教育の提供や、母子の健康の改善、マイクロクレジットなどを利用した貧困の撲滅、清潔で安全な水の供給など世界の人びとへの奉仕に役立っています。子どもたちを苦しめるポリオ(かつて日本でも大流行した小児麻痺)の撲滅には、特に力を入れてきました。この努力は実を結び、1979年の運動開始以来、世界の発症数は99.9%減少しています。「あと少し」を合言葉に、最後の0.1%の絶滅のため、最もワクチンを届けにくい地域での予防接種を可能にすべく、WHO、ユニセフ等の団体と共に活動しています。ロータリー財団はまた、平和フェローシップという奨学金制度を運営し、平和構築に役立つ人材育成にも力を注いでいます。すでに900名を数える卒業生の多くが、各国政府や、国際機関などに勤務しています。



国際ロータリーは、200以上の国と地域に、約3万5千のロータリークラブ(クラブ)、120万人以上の会員(ロータリアン)を持つ国際的組織です。「人類に奉仕するロータリー」をモットーに、様々な職業の会員がその経験や知識を生かし、友情を楽しみつつ国際規模で奉仕活動を展開しています。本紙面の内容やロータリーの活動にご興味のある方は、地元クラブの例会に足を運んでみては如何でしょうか。この紙面を見たと言えはきつと温かく迎えてくれます。お近くのクラブ所在地は、インターネットでお住まいの都市名にロータリーと続けて、検索してみてください。